

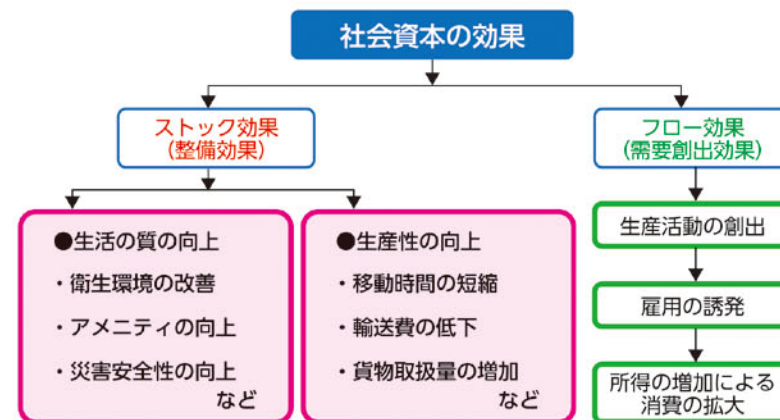
ストック効果

●社会資本の効果

道路や河川、港湾、公園、下水道等の社会資本の効果には、右図のように**ストック効果**と**フロー効果**があります。

ストック効果は、社会資本が整備され、それらが機能する(供用される)ことによって、継続的に得られる効果です。

フロー効果は、公共投資(事業)により、生産、雇用、消費等の経済活動が派生的に創出され、経済活動が拡大される効果です。



出典:「日本の社会資本2012」(H24.11内閣府)

●ストック効果の発現事例

県道土佐伊野線「大内工区」 (いの町大内)



▲位置図

▲整備前の状況



●新たに整備したバイパスに通過交通を転換することで、幅員の狭い旧道部を通行する地域住民等の安全性を確保

国道493号「小島トンネル」 (北川村小島)



▲位置図

▲被災箇所



●大規模な地すべり災害発生箇所を迂回するバイパスを整備することで、災害への安全性が飛躍的に向上